

ITを活用した教育シンポジウム2007

近年、基礎学力の定着が十分でない、また学習意欲や職業意識を持てない学生が増えつつあること等から、さまざまな大学で教育効果を上げるための工夫がなされ、e-Learning等、IT技術を活用した教育法の研究や実践等が注目されています。本学でも、最近の入学生の多様化からその学習状況に対応して、IT技術を教育に積極的に活用して効果を上げたり、従来は難しかったことも教育の現場で扱えるようになるなどの成果も報告されています。(本誌No.144号P.3掲載)

この教育に関する研究や実践は、同様な問題を抱えている大学間の情報交換や連携が重要と考え、東京工芸大学、湘北短期大学、そして本学の3大学は3月14日、「ITを活用した教育シンポジウム2007」を共済で開催しました。シンポジウムでは、(社)私立大学情報教育協会事務局長井端正臣氏による「人材育成のためのIT活用戦略」と題する基調講演が行われた後、各大学で行われているITを活用した教材や手法の開発と実践、動機付けや新しい教育の試みについての事例紹介が行われました。教育の問題と経験を互いに共有し、情報交換し、討議して更なる教育効果の向上をめざします。



【セッションA】ITを活用した教材や手法の開発・実践 (座長: I/東京工芸大学 中橋末三 II/神奈川工科大学 納富一宏)	
IT活用による可視化情報教育の検討～Excel・オブジェクト指向・e-Learning・コンピュータ創造ラボ～	東京工芸大学 今井幸雄
プレゼン情報取得プラットフォームの構築と基本評価～研究・教育活動のための基盤としての活用に向けて～	神奈川工科大学 田中博、五百蔵重典、服部哲
授業支援システムKBookの開発と課題～小テストの実施と自動採点機能～	神奈川工科大学 納富一宏、西村広光、示野浩士
WEBを活用した授業支援システム	神奈川工科大学 吉留忠史
PBL科目「科学プロジェクト」支援システムの迅速構築	神奈川工科大学 大庭武泰
Webによる計算力学事例データベースの開発と教育への活用	神奈川工科大学 小宮聖司、田辺誠/上智大学 曾我部謙
オープンソースLMS「Attain2」のカスタマイズと活用事例	湘北短期大学 澤口隆、本池巧
東京工芸大学におけるE-Learningの試行	東京工芸大学 曾根順治、金子格、北村光芳、小野文孝
数式処理システムwebMathematicaを使ったE-Learning教材の作成	湘北短期大学 本池巧
講義要点ビデオPodcastingの試行	神奈川工科大学 山本富士男、田中博、鈴木孝幸
簡易で安価な3DCG立体視アニメーションコンテンツの開発手法	神奈川工科大学 佐藤智明
統計解析ソフト「R」を用いた講義の実践と評価	神奈川工科大学 竹田裕一

【セッションB】ITを活用した動機付けや新しい教育の試み (座長: I/湘北短期大学 澤口隆 II/神奈川工科大学 田中博)	
ITを活用した低年次専門教育における教育法の改善	東京工芸大学 服部聖治郎、松本利彦、大嶋正人、廣田孝孝
IT技術者育成のための実践型教育の取り組み	静岡大学 田中宏和
情報コンテストへの要求は強い	神奈川工科大学 西原主計
応用バイオ科学科における情報教育の試み～ビジュアルコンテンツ作成による「バイオ教育」の質的向上～	神奈川工科大学 飯田泰広、山村晃、山口淳一、野田駿 ほか
Wikiを利用した学生プロジェクトの推進・支援	神奈川工科大学 西村広光
授業支援システムKBook運用記録の考察	神奈川工科大学 示野浩士、納富一宏、西村広光
大学院遠隔連携授業の実施と検討	神奈川工科大学 関晴夫、小宮一三、速水治夫
組み込み技術をテーマとした高校・大学連携プロジェクト	神奈川工科大学 三島聖弘、金井健輔/甲府工業高校 中澤透、植秀樹
現代GP実施報告: 地域と連携するITの実践教育の展開	神奈川工科大学 小宮一三、小川善道、堀川茂樹、吉野和芳 ほか
神奈川工科大学図書館のデジタル情報化への取り組み	神奈川工科大学 相川朋生、尾崎亮典、松本一教
マルチメディアを活用した物理学実験	東京工芸大学 山田八千代、川畑一
東海大学におけるe-Learningによる取り組み	東海大学 若林敏雄、佐藤美、緒方道郎、村田信一 ほか
語学教育におけるIT活用領域とは何か	神奈川工科大学 坂場順子

電気電子情報工学科 JABEE認定

2007年度に申請した電気電子情報工学科総合的エンジニア養成コース(グローバルエンジニアコース)が、今年5月、日本技術者教育認定機構よりJABEE認定されました。

本コースは、電気電子情報工学に関する基礎をしっかりと学ぶことで、より豊かな応用力を身につけるコースです。JABEE認定のプログラムは国際基準に沿った教育プログラムとして、修了生には「修習技術者」の資格が与えられ、国家資格である「技術士」の第1次試験が免除されます。

□ JABEE認定内容 □

教育機関名: 神奈川工科大学 工学部 電気電子情報工学科
認定プログラム名: 総合的エンジニア養成コース
認定分野: 電気・電子・情報通信およびその関連分野
認定期間: 2007年4月1日から5年間

地域交流

親子でロボットの仕組みを学ぶ 厚木情報プラザ主催「IT教養講座」に協力

3月15日、厚木市民にコンピュータプログラミングを楽しく理解してもらおうと「IT教養講座『ブロックのロボットを動かそう!』(主催: 厚木市情報プラザ)」を本学にて開催し、6組13名の親子が参加しました。

この講座は、ホームエレクトロニクス開発学科金井徳兼教授と三輪基助助教授の指導のもと、ブロックで作ったロボットを制御プログラムを使って操作し、プログラミングの基本を学ぶもので、参加した親子たちは、プログラミングに戸惑いながらも、指示通りにロボットを動かすことができた時には一様に「おもしろい!」と話していました。

本学では、これからも多くの子どもたちが、科学に楽しく触れる機会を提供していけるよう、このような講座に協力していく予定です。



思った通りにロボットを動かせるかな? コンピュータプログラミングにチャレンジ!

化学イベント“燃電コン”

地域科学技術理解増進活動推進事業 「地域活動支援」に採択

独立行政法人科学技術振興機構(JST)の地域科学技術理解増進活動推進事業において募集する「地域活動支援」に、応用化学科伊熊泰郎教授が応募した「アルコールで動く燃料電池の性能コンテスト“燃電コン”」が採択されました。この「地域活動支援」は、地域の児童生徒や住民を対象とした科学技術に関する体験型学習活動を推進するため、JSTがこうした活動に取り組む大学など各機関が実施する科学技術理解増進活動(実験・工作教室やシンポジウムなど)を支援するものです。今回の募集には全国から416件の応募があり、178件が採択されました。

採択された“燃電コン”は高校生を対象とした化学イベントで、ウイスキーの水割りを燃料とし、燃料電池性能の高さを競うコンテストです。各チームに燃料電池キットを無償貸し、知恵とアイデアで性能を競います。奮ってご参加ください。

参加者募集

アルコールで動く燃料電池の性能コンテスト“燃電コン”

【日 程】 8月24日(日)

【場 所】 神奈川工科大学 応用化学科

【応募締切】 7月25日(金)

お申し込み先: 企画広報課 TEL.046-291-3002



幼稚園児の大学探検

3月7日、七沢幼稚園の年長・年中の子供たち32名が大学を訪問しました。12月に行った顕微鏡実験教室(本誌No.149掲載)に続いて二回目の交流です。応用バイオ科学科の学生を中心として、応用化学科と自動車システム開発工学科の学生も協力してくれました。今回は、大学をより身近に感じてもらうため、園児を3、4名の班に分け、担当の学生と一緒にスタンプラリー形式で学内を探検してもらいました。図書館、実験室、スタジオ、ソーラーカー、ロボット、KAIT工房など、地図を片手にスタンプを求め、学内を我が庭のように歩き回っていました。スタンプと一緒に集めたカードは、並べかえると学生から子供たちへのメッセージ「み・ん・な・の・た・か・ら・も・の」。見て、聞いて、感じたことをずっと大切にしておきたいと思っています。お昼もみんなで一緒に食べて、学生と子供たちの距離がぐっと縮まった一日でした。



学生とともに学内を探検



ソーラーカーの到着に喜ぶ子供たち

協力した学生メッセージ

「楽しかったことやびっくりしたことなどの様々な思い出を「たからもの」として、その「たからもの」をこれから増やしていって欲しいと子供たちへあいさつをしました。それは私自身にも言えることなので、今回の大学探検はとてもよい経験になりました。(岡田知恵さん/応用バイオ科学科2年(当時))」『小さい子にわかる言葉で説明しようという心がけていたのですが、つい専門用語がでてしまいました。言葉の意味を説明するのにとても苦労しましたが、自分でも理解が深まって良い機会でした。ありがとうございました! (山田裕子さん/大学院応用化学専攻博士前期課程2年(当時))』